

(5) 保全対策に係るアイヌ文化普及方策の検討

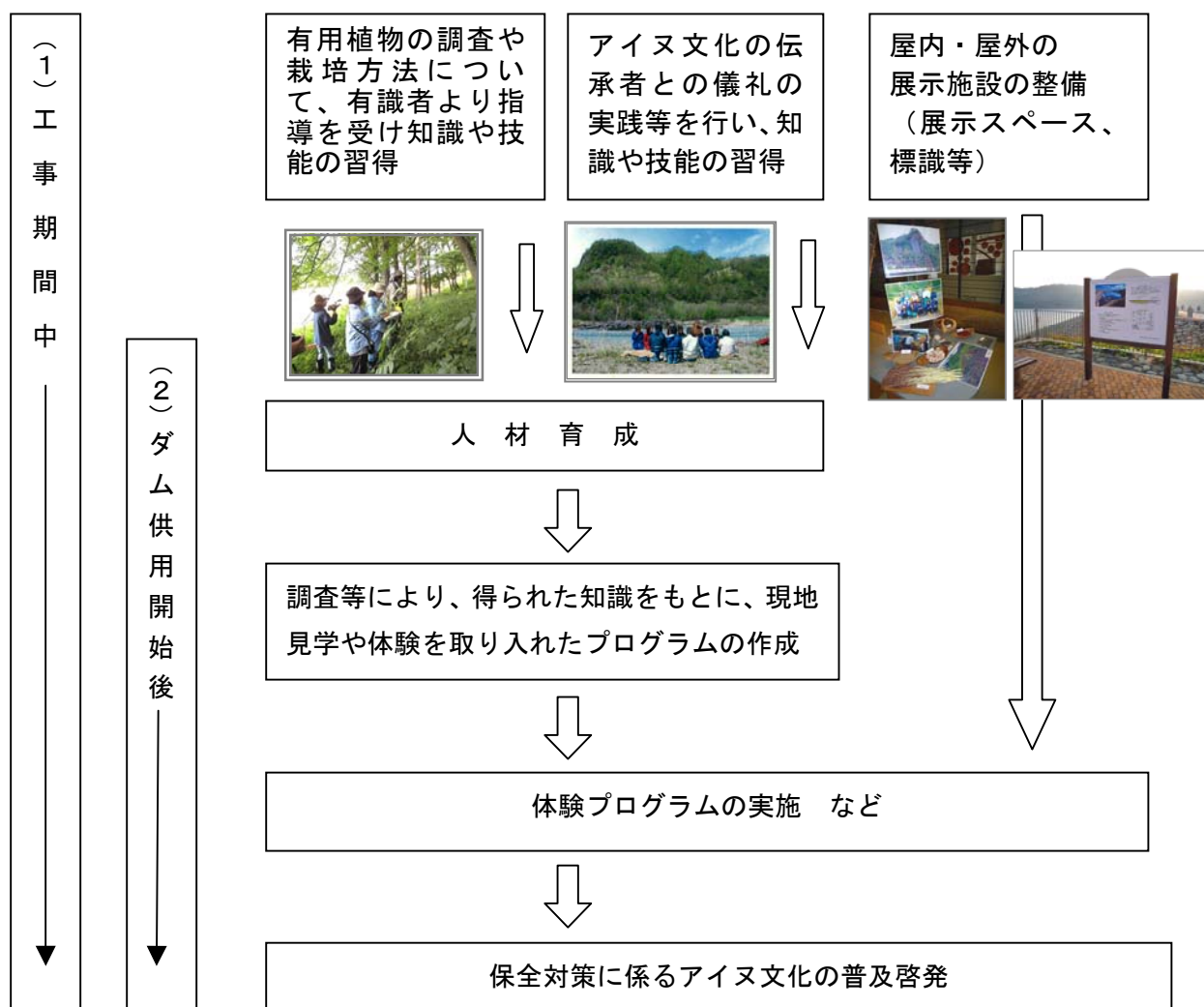
〔保全対策に係るアイヌ文化普及方策の取り組みイメージの例〕

◆実施時期と実施方法の想定

- 工事期間中(1)に保全対策が段階的に進展していくものと、工事期間中の準備的期間を経て、ダム供用開始後(2)に継続的に取り組みが行われていくものが考えられる。
- 工事期間中は、ダム事業者による調査活動を基本に、アイヌ文化保全対策に関する情報の収集・整理を行い、それらをもとに体験学習等のプログラムを作成しながら人材の育成を図り、必要な展示設備・施設等と運営体制の整備に取り組む。
- 工事期間中ならびにダム供用開始後は、アイヌ文化の担い手の参画を得て、体験学習等を目的とした取り組みを行いながら、保全対策に係るアイヌ文化の普及啓発を図る。

【時期の想定】

【保全対策としての取り組みの一例】



(出典:上記1点の写真は、第7回検討会資料-3①より引用)